

すすき野・虹ヶ丘で新たな暮らしの選択肢を生み出すエリアリノベーションプロジェクトを始動

～第1弾として、団地の空き室を活用した学生向けシェアハウス「Uni-ba」を2026年10月中旬に開業～

東急株式会社

当社は、横浜市青葉区すすき野と川崎市麻生区虹ヶ丘が隣接する行政境エリア（以下、本エリア）において、団地の空き室や戸建ての空き家、空き店舗などを活用し、新たな暮らしの選択肢を生み出すエリアリノベーションプロジェクト（以下、本プロジェクト）を始動します。

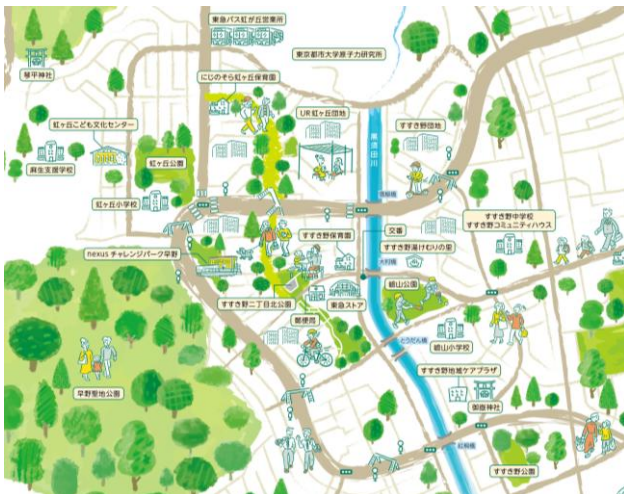
本エリアは、大規模団地と戸建て街区によって構成される閑静な郊外住宅地です。少子高齢化の進行や、若年層を呼び込む生活・商業機能の不足といった課題がある一方、豊かな自然やゆとりある住環境に恵まれており、当社が2022年4月から運営する地域交流拠点「nexusチャレンジパーク早野」では、地域住民や企業、行政、学校など多様な主体が関わる土壌が育まれてきました。

本プロジェクトでは、こうした本エリアの魅力やつながりを生かし、地域に存在する団地の空き室や戸建ての空き家、空き店舗などの遊休ストックを活用し、新たな暮らし方や地域との関わり方を生み出すプロジェクトを段階的に展開していきます。その第1弾施策として、団地の空き室をリノベーションした学生向けシェアハウス「Uni-ba（ユニバ）」（以下、本施策）を2026年10月中旬に開業します。まずは、虹ヶ丘団地の物件で入居者募集を開始し、今後本エリア内で複数の拠点を展開していきます。

本施策は、学生が住まいに関わる費用面などの負担を抑えながら、団地清掃や地域イベントへの参加などを通じて地域活動に関わることができる機会を提供することにより、本エリア全体の魅力向上と新たな居住者の流入・定着を目指すものです。大学での学びや関心を地域で実践する機会を生み出し、若年層と地域住民との交流促進や地域活動の担い手創出につなげます。また、地域にとっても、学生との継続的な関わりを通じて新たな交流や活力を生み出すことを目指します。

今後も当社は、本プロジェクトの下、各施策を段階的に展開し、住まい、商い、食、交流が連動する生活者起点のまちづくりを進めます。また、本プロジェクトで得られた知見を生かし、東急線沿線の他地域における新たな暮らしの選択肢の創出につなげていきます。

本プロジェクト、および本施策に関する詳細は別紙の通りです。



▲すすき野・虹ヶ丘エリアマップ



▲すすき野・虹ヶ丘団地 住戸内観イメージ(リフォーム後)

以 上

【別紙】

■本プロジェクトの概要

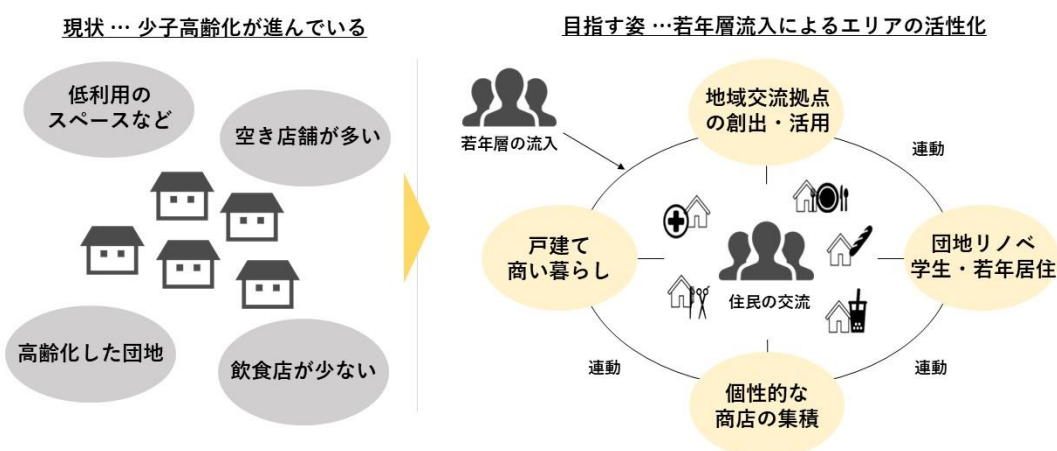
本プロジェクトは、団地の空き室や戸建ての空き家、空き店舗など、地域に既にある建物や空間に新たな役割を加え、住まい、商い、食、交流に関する複数のプロジェクトを連動させる取り組みです。

学生をはじめとする若年層など新たな居住者を呼び込むとともに、地域住民や企業、行政、学校などが関わる機会を生み出すことで、暮らしの選択肢を広げ、エリアの魅力を高めます。

今後は、若年層向け賃貸住宅や、商い暮らし住宅、シェアキッチンを中心とする屋内型交流拠点の整備など、本エリアの特性を生かしたさまざまな取り組みを段階的に推進していく予定です。これらの取り組みを通じて、新たな居住者の流入や地域内外の交流を促し、持続的な地域循環の創出や本エリアの活性化を目指します。

郊外住宅地での新しいチャレンジ

団地の空き室や戸建ての空き屋、空き店舗などを活用した仕掛けを展開、相互連携していくことで、エリア全体の活性化を生み出す



▲本プロジェクトの目指す姿

■本施策の概要

本施策では、団地の空き室を活用し、学生が共同で暮らすための住まいであることを基本としながら、団地清掃や地域イベントへの参加など、日常の延長で地域と関わることのできる学生向けシェアハウスを提供します。「Uni-ba」の名称は、「University」と「場(ba)」に由来し、大学の外にも自分の“場”をつくれる場所という意味を込めています。

■物件情報

所在地	神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘3丁目1-15号棟303号室(以下、本物件)
住戸構成	鍵付き個室3部屋、共用リビング・ダイニング・キッチンなど
募集対象	大学生3名を予定
入居時期	2026年10月中旬
賃料	月額38,000円～42,000円
共益費	月額9,000円 ※水道・電気・ガス・インターネット費用含む
アクセス	田園都市線・横浜市営地下鉄ブルーライン「あざみ野」駅からバス10分 東急バス「虹が丘小学校」停留所から徒歩3分
備考	内容は現時点の予定であり、今後変更となる可能性があります



▲本物件の間取り図



▲本物件のイメージ図

■本施策の特徴

本施策では、住まいに関わる費用面などの負担を抑えながら、ひとりの時間と人とのつながりの両方を大切に、学生が地域の中で自分の関心や学びを実践できる住まいを目指します。

- ① 家具・家電付きで、新生活を始めやすい
鍵付きの個室と共用リビング・ダイニング・キッチンを備え、プライベートな時間と入居者同士の交流を両立します。
- ② 暮らしの延長で地域とつながる
月1回程度の団地清掃を基本に、希望に応じて地域行事への参加や運営補助など、地域と関わる機会を設けます。
- ③ 学びや関心を地域で生かせる
「nexusチャレンジパーク早野」での自主企画の実施や学生同士のプロジェクト活動など、地域住民との交流や当社との相談機会を通じて、新たな挑戦や自己実現を支援します。

詳細は、今後、募集ページから順次発信します。

参考URL: <https://uni-ba.com/>

【参考】「nexusチャレンジパーク早野」について

当社が2022年4月に開設した地域交流拠点。川崎市と横浜市の市境近辺に位置し、地域住民や学校、企業、行政等との連携による多世代交流やコミュニティ形成を推進するとともに、地域課題の解決や新たなまちの魅力創出に向けた取り組みを展開しています。



▲nexus チャレンジパークの様子